

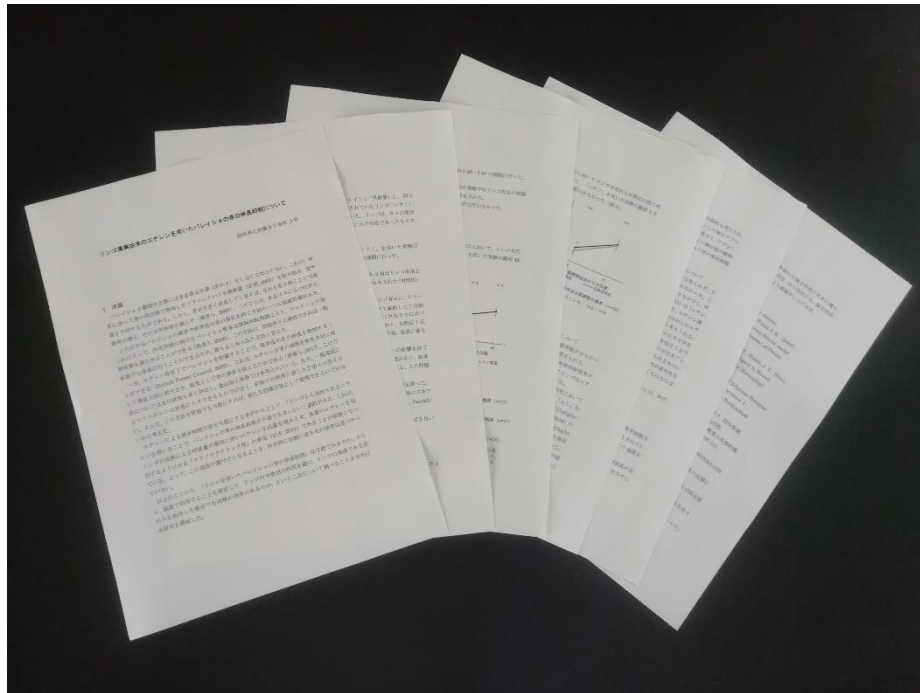
科学的探究Ⅲ 論文作成

令和2年6月～9月

科学的探究Ⅲの活動である論文作成が終了し、授業を選択した3年生1名が、日本学生科学賞（読売新聞）、全国高校生理科・科学論文大賞（神奈川大学）、科学の芽賞（筑波大学）に論文を出品しました。

今年度は休校期間中の影響により実験時間がなかなかとれない状況でしたが、生徒は休校期間中にも家庭で実験を続け、6月中旬からの論文作成に臨みました。作成過程では、要旨作成→トピックアウトライン作成→本文の作成と作業を進めていく中で、2年生の時には気づけなかった研究の課題がどんどん明らかになっていきました。国内外の関連する論文を読みあさり、自分の研究データと向かい合いながら、どうやったらその研究の課題を解決できるかを考える生徒の姿は、とても頼もしく思えました。2年間のSS探究の研究の中で、生徒はたくさん思い悩み、たくさんの研究をしますが、論文の形として結実するのはその活動の中のほんの一部です。しかし、だからこそ生徒の思いが凝縮されたものになっていると思います。

論文作成の仕方を学ぶことは、今日の科学がこういったルールのもとに成り立ってきたかを学ぶことでもあります。この活動を通して、「研究とは何か」、「形にすることの難しさとおもしろさ」、「相手に伝わるような文章の表現の工夫の仕方」、などなど多くのことを生徒は学び取ってくれたと感じています。



生徒の作成した論文。全6ページにこれまでの思いが凝縮されています。